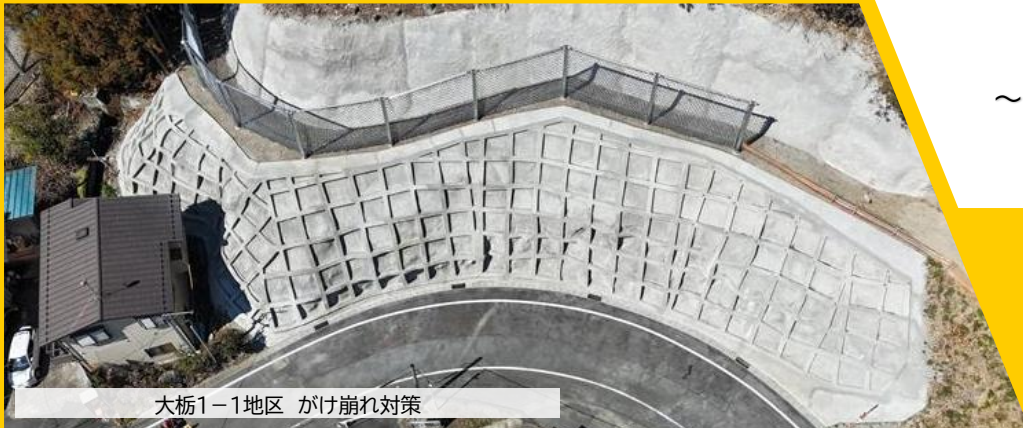




県道藤岡本庄線(藤岡工区) 電線共同溝



大栃1-1地区 かけ崩れ対策



県道前橋長瀬線(神田工区) バイパス整備

# よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

## 多野藤岡地域

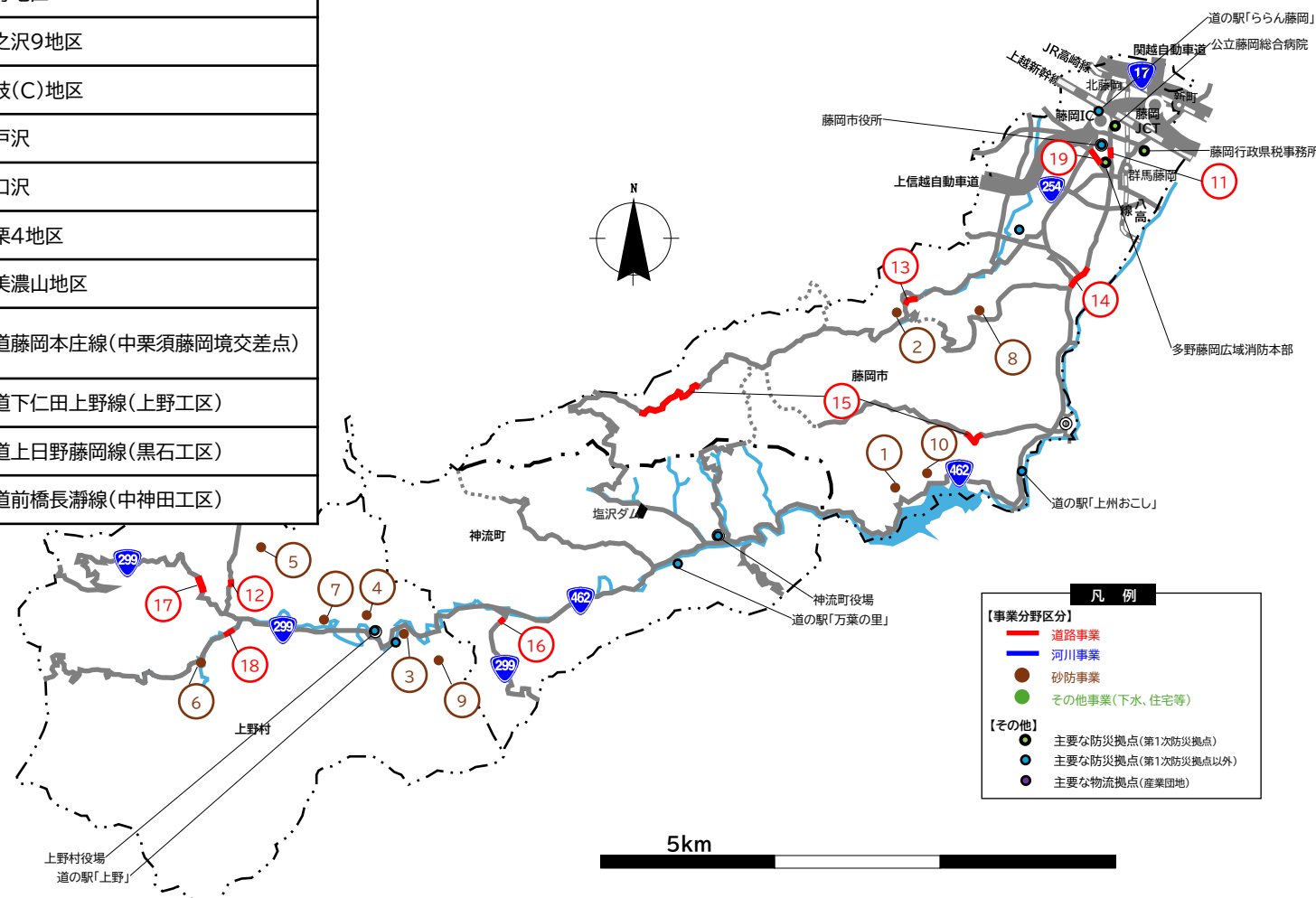
令和8年度版

# 多野藤岡地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	がけ崩れ対策	藤岡市坂原	大橋1-1地区
2	地すべり対策	藤岡市下日野	駒留地区
3	がけ崩れ対策	上野村新羽	向屋2地区
4		上野村乙母	乙母地区
5		上野村檜原	塩之沢9地区
6		上野村檜原	三岐(C)地区
7	土石流対策	上野村乙父	森戸沢
8		藤岡市高山	沢口沢
9	がけ崩れ対策	上野村新羽	野栗4地区
10	地すべり対策	藤岡市保美濃山	保美濃山地区
11	交差点改良	藤岡市中栗須	県道藤岡本庄線(中栗須藤岡境交差点)
12	現道拡幅	上野村檜原	県道下仁田上野線(上野工区)
13	バイパス整備	藤岡市下日野	県道上日野藤岡線(黒石工区)
14	歩道整備	藤岡市神田	県道前橋長湊線(中神田工区)

番号	事業内容	施工箇所	路河川名
15	孤立対策	藤岡市三波川・上日野	県道会場鬼石線(三波川工区)
16		神流町神ヶ原	国道299号(神ヶ原工区)
17		上野村檜原	国道299号(檜原工区)
18		上野村檜原	県道上野小海線(檜原工区)
19	歩道整備	藤岡市藤岡	県道寺尾藤岡線(藤岡工区)



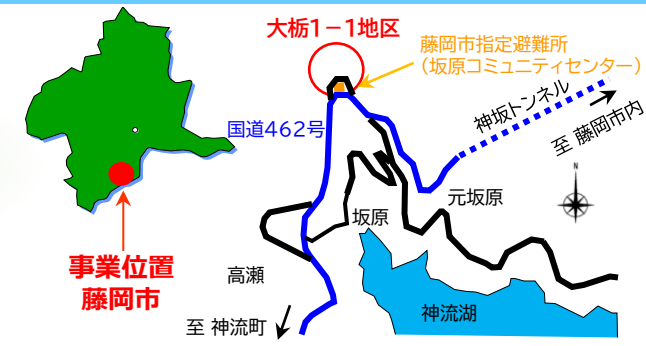
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法面対策をしました

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。(地元住民)



- 事業の概要**
- 事業箇所: 藤岡市坂原
  - 事業内容: 防護柵工 L=98m、法枠工 A=1,011m<sup>2</sup>
  - 事業期間: 令和元年度～令和7年度

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

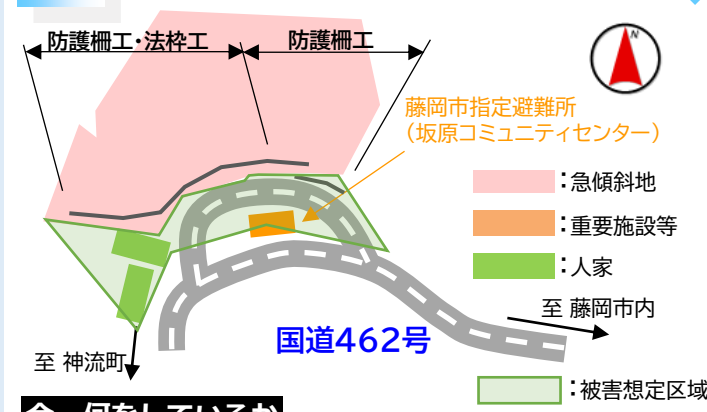
事業後

◆ 防護柵・法枠をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



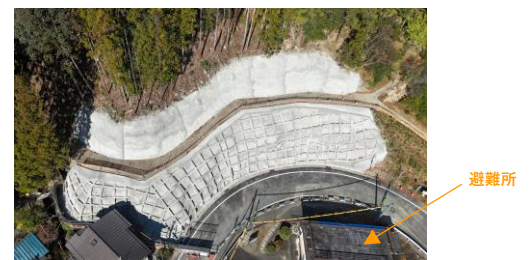
事業後の状況

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、がけ崩れリスクが軽減されました。



避難所

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	2戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (坂原コミュニティセンター)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道462号)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業完了

### どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

## 地すべり防止施設をつくりました

### 地元の声

- ・近年、全国で毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。(地元住民)
- ・もし地すべりが発生したら県道の寸断による孤立が不安です。早く対策を。(地元住民)

### 事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市下日野
- 事業内容: 集水井 9基、横ボーリング工
- 事業期間: 平成26年度～令和7年度

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

### 事業前

- ◆ 平成19年の台風の豪雨により地すべりが発生し、市道の擁壁などに被害が発生しました。



市道擁壁のクラック

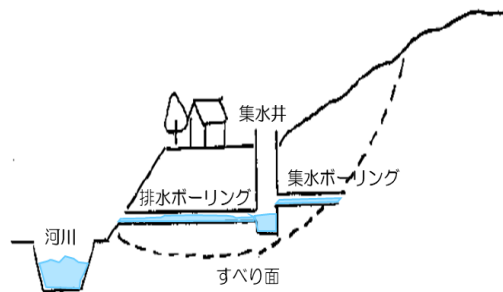


斜面頭部の滑落崖

事業前の状況

### 事業後

- ◆ 集水井を整備し地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



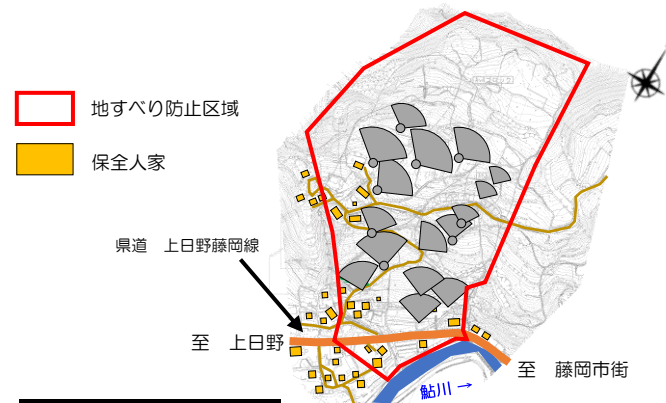
事業のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	29戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (県道上日野藤岡線)

実施後(目標)
0戸
0箇所



### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和7年度に工事が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



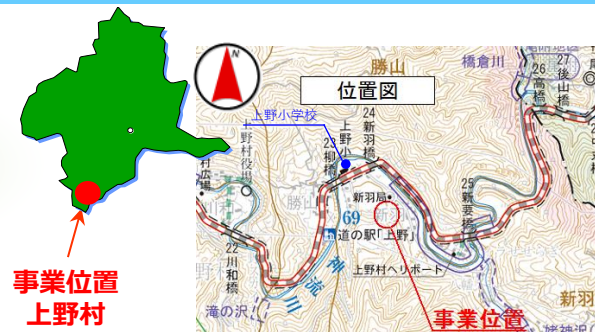
## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を  
つくりました

### 地元の 声

- ・大雨の時、危険を感じたため、かけ崩れや落石への対策をしてほしい。(地元住民)
- ・安心して避難できる場所がほしい。(地元住民)



### 事業の概要

- 事業箇所: 上野村新羽
- 事業内容: 防護柵工 L=167m
- 事業期間: 令和元年度～令和7年度

### 事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (新羽公民館)

実施後(目標)
0戸
0施設

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、かけ崩れリスクが軽減されました。

- 急傾斜地
- 重要施設等
- 人家
- 被害想定区域



### どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくりました

#### 地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)



#### 事業の概要

- 事業箇所: 上野村乙母
- 事業内容: 擁壁工 L=77m
- 事業期間: 令和3年度～ 令和7年度

#### 事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等ではがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

#### 事業後

◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



#### 今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、がけ崩れリスクが軽減されました。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (円通寺乙母集会所)

実施後(目標)
0施設

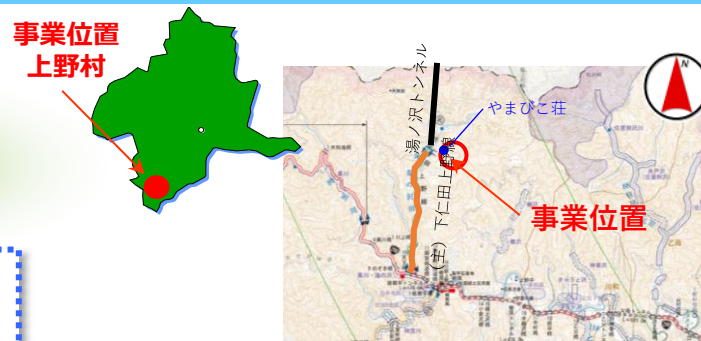
### どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

## 防護柵と法面对策をしました

### 地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)



- 事業の概要**
- 事業箇所: 上野村大字檜原
  - 事業内容: 防護柵工 L=63m、法面工 A=192m<sup>2</sup>
  - 事業期間: 令和3年度～令和7年度

### 事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、がけ崩れリスクが軽減されました。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要施設等	1箇所(避難所)

実施後(目標)
0箇所

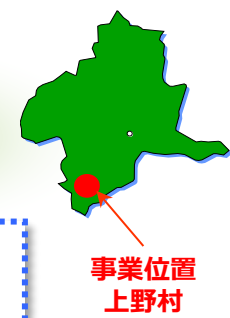
## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

## 防護柵と法面对策をします

### 地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)



### 事業の概要

- 事業箇所: 上野村檜原
- 事業内容: 防護柵工 L=92m 法面工 A=2,216m<sup>2</sup>
- 事業期間: 令和3年度～

### 事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

◆ 防護柵・法面对策をすることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

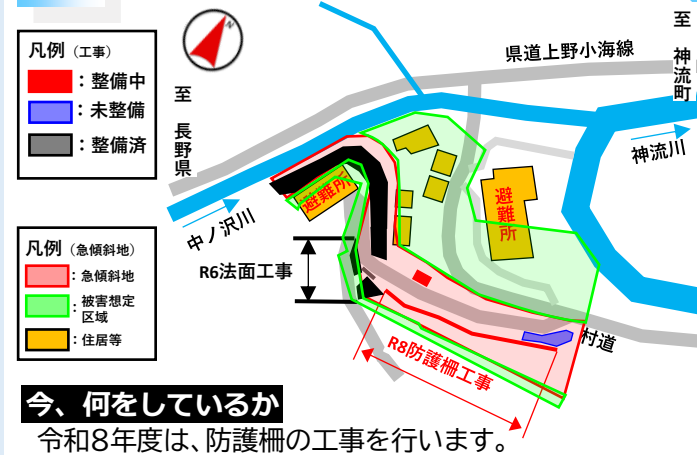


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設 (木森れ陽、しおじの湯)

実施後(目標)
0戸
0施設

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

#### 地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。（地元住民）



#### 事業の概要

- 事業箇所: 多野郡上野村乙父
- 事業内容: 砂防堰堤1基
- 事業期間: 令和4年度～

#### 事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



#### 事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



令和8年度は、砂防堰堤の工事を行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	26戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (乙父公会堂)

実施後(目標)
0戸
0施設

## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

### 地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。(地元住民)



### 事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市高山
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和4年度～

### 事業前

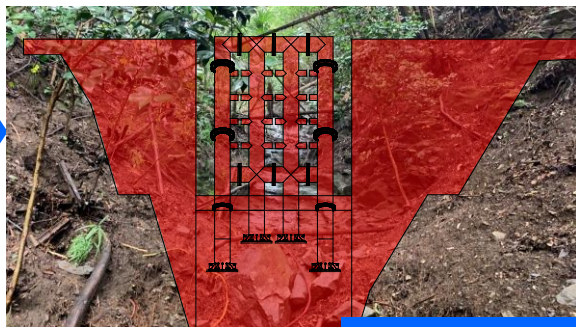
- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

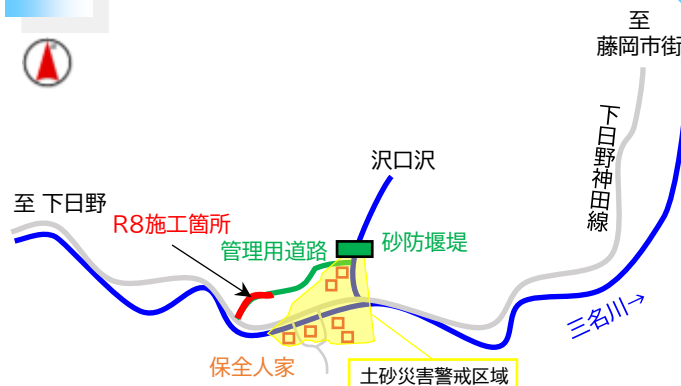


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (県道下日野神田線)

実施後(目標)
0戸
0箇所

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、用地取得及び管理用道路の工事を行います。



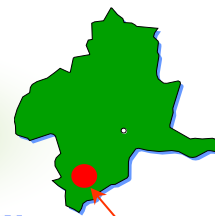
## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と法面対策を  
します

### 地元の 声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)



事業位置  
上野村



### 事業の概要

- 事業箇所: 上野村新羽
- 事業内容: 擁壁工 L=107m、法枠工 A=810m<sup>2</sup>
- 事業期間: 令和3年度～

### 事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

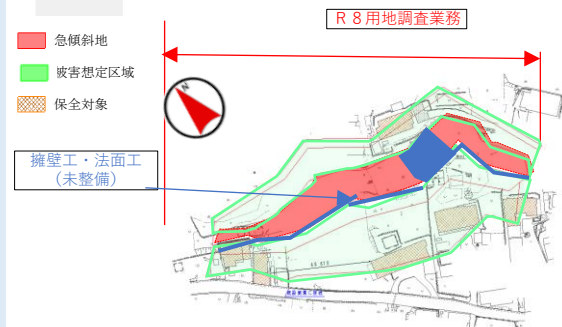
### 事業後

- ◆ 擁壁・法面対策により斜面を安定させ、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、用地調査を行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受ける人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (野栗公会堂)

実施後(目標)
0戸
0施設



事業完了

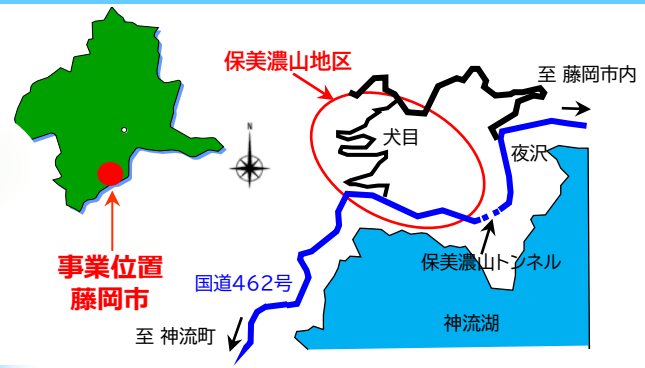
## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

## 地すべり防止施設をつくりました

### 地元の声

- ・地すべりにより国道が寸断されると孤立してしまうので早めの対策をお願いしたい。(地元住民)
- ・毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。安心して暮らせるよう対策を。(地元住民)



### 事業の概要

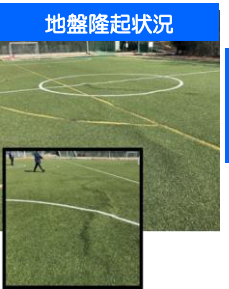
- 事業箇所: 藤岡市保美濃山
- 事業内容: 集水ボーリング工
- 事業期間: 令和4年度～令和7年度

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)

### 事業前

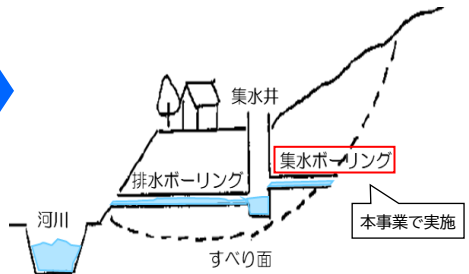
- ◆ 当該箇所は平成23年に概成しましたが、令和元年東日本台風後に区域内の旧美山小学校(現フットサル場)で地すべりに起因する隆起が見られるようになったため、事業を再開しました。



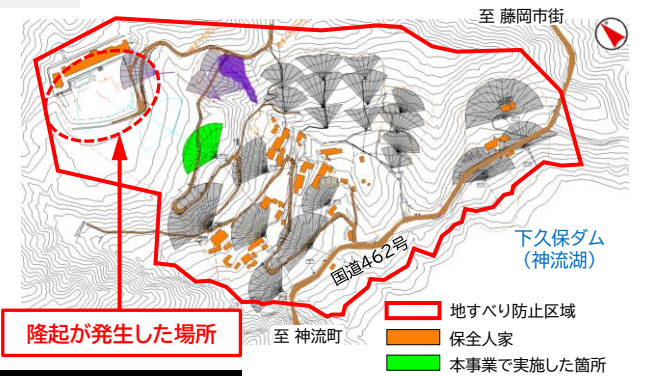
事業前の状況

### 事業後

- ◆ 過年度整備済みの集水井内に集水ボーリングを追加整備し、地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



事業のイメージ



### 今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	22戸

実施後(目標)
0戸

どのような未来を目指すための事業か

地域の円滑な通行を確保するため

右折車線を整備します

地元の声

・交差点に右折車線を設置して渋滞を緩和してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市中栗須～藤岡
- 事業内容: 交差点改良 延長230m、道路幅員12m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 11,151台/日(自動車) (令和3年度)

事業前

◆通勤時間帯を中心に、中栗須藤岡境交差点で右折車両による交通渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

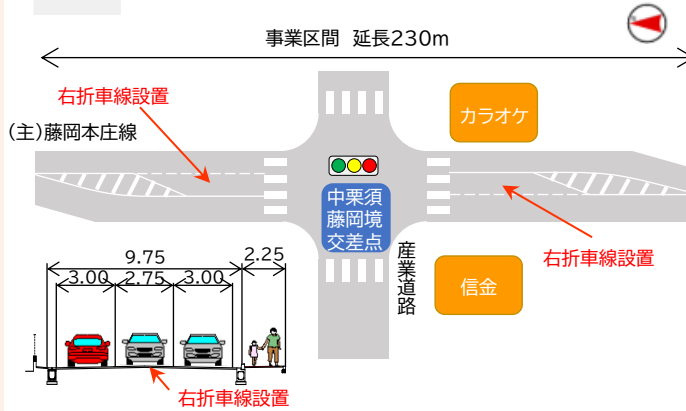
◆右折車線を設置することで、右折車両の滞留を防ぎ、円滑な通行空間を確保します。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得を進めるとともに右折車線を整備するため、道路の拡幅工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
渋滞損失時間の削減量	0万人時間
一方向あたりの最大渋滞長	370m

実施後(目標)
1.5万人時間
0m



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元の声

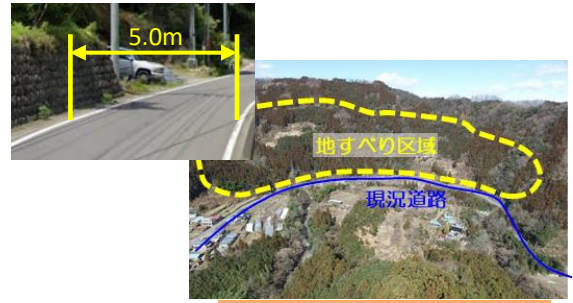
- ・この区間は災害で寸断される恐れがあるので、早く整備してほしい。(地元住民)
- ・この区間は急なカーブが多く車の運転が危険なので、バイパス整備に期待します。(地元住民)
- ・道幅が狭く車両のすれ違いが危険な箇所があるので、安全なバイパスを整備して欲しい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市下日野
- 事業内容: バイパス整備 延長 600m 道路幅 7.0m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: 2,849台/日(自動車)  
 (令和3年度): 27人/12時間(歩行者)  
 : 16台/12時間(自転車)
- 計画交通量 : 3,660台/日(自動車)  
 (令和12年度)

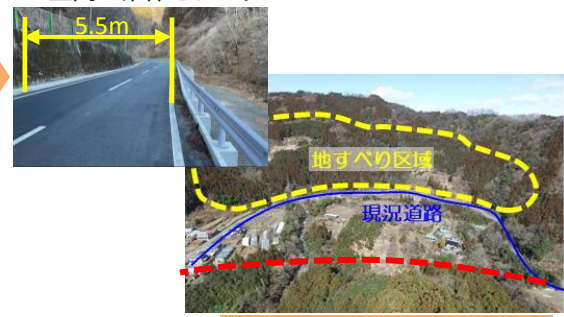
事業前

- ◆ 現道沿線は、地すべり区域が存在しているため、斜面崩落などの災害発生により道路が寸断されるおそれがあります。
- ◆ 現道には急なカーブや道幅が狭い区間が存在し、安全な通行に支障があります。



事業後

- ◆ バイパス道路をつくることにより地すべり区域を回避し、道路の寸断を未然に防止します。
- ◆ 道路の線形や道幅が改善され、安全な通行空間が確保されます

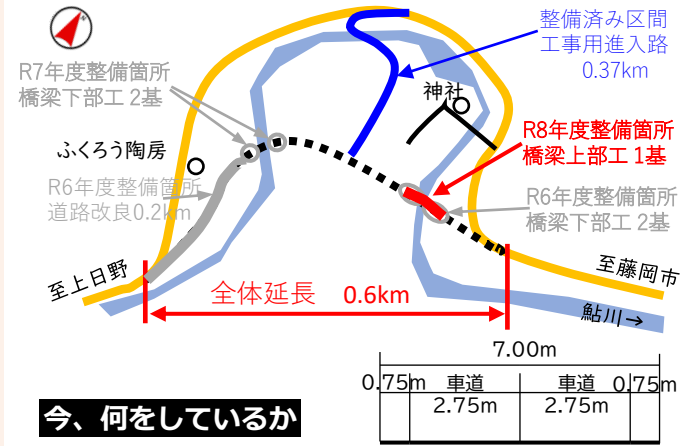


成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員5.0m)
落石危険箇所	4箇所

実施後(目標)
すれ違い容易(幅員5.5m)
0箇所(4箇所減少)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は橋梁上部工を実施します。



事業のすすみ具合



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がなく、大型車が多く通るため危険である。(地元住民)
- ・高校生が市街地方向へ通学しているが、路肩が狭く危険である。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市神田
- 事業内容: 歩道整備 延長390m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和4年度～
- 現在の交通量: 9,042台/日(自動車) 8人/12時間(歩行者) 42台/12時間(自転車)

事業前

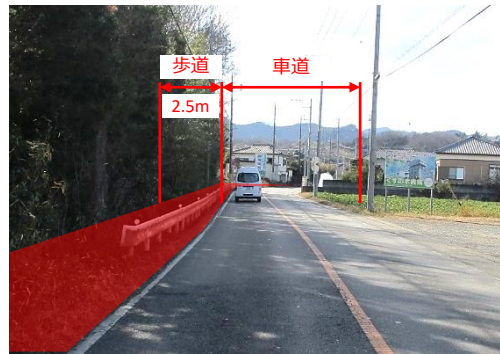
◆歩道が無く、自転車も狭い路肩を走るため、通学することもと自動車の接触など危険な状況です。



事業前の状況

事業後

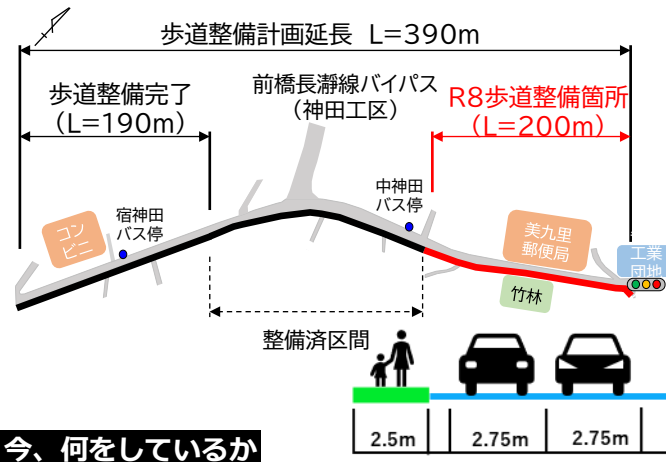
◆歩道を整備することで、歩行者と車両の通行空間が分離され、歩行者と自転車の安全が確保されます。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き、歩道工を実施します。



成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%

事業のすすみ具合



# 県道会場鬼石線（三波川工区）孤立対策事業

事業継続中

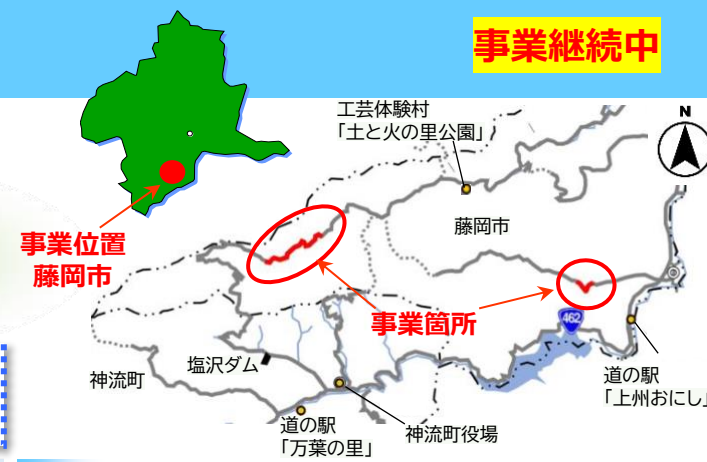
## どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### 道路への落石を防ぐ施設を作ります

### 地元の声

・唯一の生活道路であるため、安全に通れるようにしてほしい。(道路利用者)



### 事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市上日野・三波川
- 事業内容: 落石対策 7箇所
- 事業期間: 令和6年度～

- 現在の交通量: 118台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

### 事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

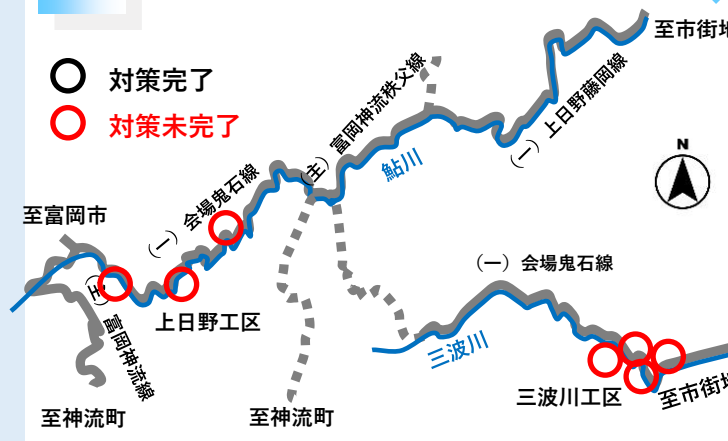
### 事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、対策実施箇所の用地調査を実施します。



成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	7箇所

実施後(目標)
0箇所



### どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### 道路への落石を防ぐ施設をつくります

#### 地元の声

・指定避難所へ向かう唯一の道であるため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

#### 事業の概要

- 事業箇所: 神流町神ヶ原
- 事業内容: 落石対策 1箇所
- 事業期間: 令和6年度～
- 現在の交通量: 100台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

#### 事業前

- ◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

#### 事業後

- ◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	1箇所

実施後(目標)
0箇所



### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



#### 今、何をしているか

令和8年度は、測量設計及び落石対策工事を実施します。



### どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

### 地元の声

・指定避難所へ向かう唯一の道であるため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

### 事業の概要

- 事業箇所: 神流町神ヶ原
- 事業内容: 落石対策 2箇所
- 事業期間: 令和8年度～
- 現在の交通量: 100台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

### 事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	2箇所

実施後(目標)
0箇所



### 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、測量設計を実施します。



# 県道上野小海線（檜原工区）孤立対策事業

R8新規事業

## どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### 道路への落石を防ぐ施設をつくります

### 地元の声

・指定避難所へ向かう唯一の道であるため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

### 事業の概要

- 事業箇所: 上野村檜原地内
- 事業内容: 落石対策 1箇所
- 事業期間: 令和8年度～
- 現在の交通量: 100台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

### 事業前

- ◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

### 事業後

- ◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	1箇所

実施後(目標)
0箇所



## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、測量設計業務を実施します。



てら お ふじおか ふじおか  
**県道寺尾藤岡線（藤岡工区）歩道整備事業**

**事業継続中**

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

**歩道を整備します**

**地元の声**

- ・歩道がなく交通量も多いため、小学生の登下校に不安を感じる。(地元住民)
- ・高校生も通学時に利用しているが、路肩が狭く危険である。(地元住民)

**事業の概要**

- 事業箇所: 藤岡市藤岡
- 事業内容: 歩道整備 延長900m、歩道幅員 未定
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 10,982台/日(自動車) (令和3年度) 6人/12時間(歩行者) 68台/12時間(自転車)

**事業前**

◆歩道が無く、自転車も狭い路肩を走るため、通学することもと自動車の接触など危険な状況です。



事業前の状況

**事業後**

◆歩道を整備することで、歩行者と車両の通行空間が分離され、歩行者と自転車の安全が確保されます。



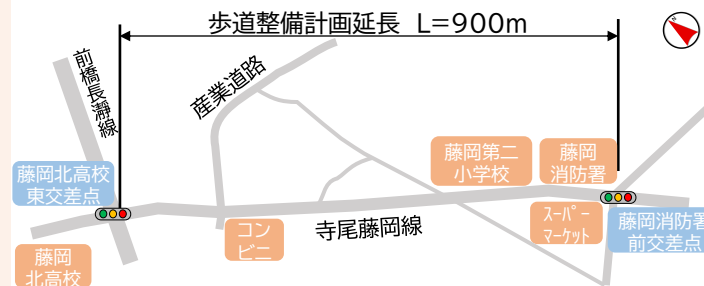
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%



**事業の進捗状況(令和8年3月末現在)**



**今、何をしているか**

令和8年度は、昨年度から実施している予備設計を継続して実施し、地元説明会后に詳細設計を実施します。

